

第53回全国校友沖縄大会に参加してきました。

前日に那覇市に入り、その夜は那覇で合流した中山さんと国際通りの居酒屋で、オリオンビール、泡盛、ゴーヤチャンプルーなどの沖縄料理を頂きながら沖縄民謡を楽しみました。

翌日は大会事務局が用意してくださったシャトルバスで、当日沖縄入りされた島田支部長ご夫妻と合流して会場の宜野湾市にある「沖縄コンベンションセンター」に向かいました。バスの中では「何年度卒業ですか?」「学部は?」という会話が飛び交い、さながらタイムマシンに乗って一気に数十年前に帰ったよう気分になりました。

そんな気分のまま受付を済ませ、自分へのお土産の明大グッズを購入し、座席に座って大会プログラムを見ていると、参加者の中にキャンパスでお世話になった先輩の名前を発見しました。懇親会でお会いできるかもと期待した一方、私のこと覚えていてくれるだろうか?先輩が卒業されてから40数年、私は結婚して姓も変わっている。会っても「あんた誰?」って言われるかも etc と思いを巡らせていました。会場に入り、約1000人の中からはたして探せるだろうかと不安でしたが、幸いテーブルも近くだとわかり、さりげなく名札を確認しながら先輩を探してみました。すぐに見つけることができ「〇〇さん」と声をかけると「おおー」と笑顔で返してくださいました(あんた誰?とは言われませんでした(笑))。先輩はかなり賞禄が出てらしたので、街ですれ違っていたら、きっとわからなかったかもしれません。校友会で再会できてよかった!メアドの交換をして、また来年の全国大会での再会を約束しました。(気分は二十歳)

【追記】 帰りのバスで高校(千葉県立国府台高校)の先輩と一緒に(こちらは知らない方ですが)「校舎の廊下ですれ違っていたかもね」ともう気分は18歳になっていました。

昭和50年農学部農芸化学科卒業 古畑久仁子



記念品の琉球グラスとお土産の泡盛



明大グッズと参加章の名札